

# 会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回上尾市介護保険事業計画等推進委員会	
開催日時	令和4年10月20日(木) 午後1時30分から午後2時30分	
開催場所	Web会議	
議長(委員長・会長)氏名	伊波 潔	
出席者(委員)氏名	高橋 正一、轟 信一、長沢 純、藤村 作、藤井 由実子 佐々木 陽介、高橋 由莉、杉浦 佑介、相田 美枝子、 嶋田 泰雄、大山 和俊	
欠席者(委員)氏名	湯本 千秋、細野 紀江子、佐々木 好文	
事務局(庶務担当)	石川健康福祉部長、畑健康福祉部次長、野崎高齢介護課長、 木村主幹、武山主任、萩原主任、堀主事	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	1 開会 2 議事 (1) 第8期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の重点プロジェクトの進捗状況について (2) 上尾市高齢者実態把握アンケート調査について 3 その他 4 閉会	別紙のとおり
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 0名
会 議 資 料	1 令和4年度第1回上尾市介護保険事業計画等推進委員会 次第 2 第9期上尾市介護保険事業計画等推進委員会委員名簿 3 第8期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の重点プロジェクトの進捗状況について 4 高齢者実態把握アンケート調査について 5 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 6 在宅介護実態調査 7 在宅生活改善調査 8 居所変更実態調査 9 介護人材実態調査(施設系・通所系) 10 介護人材実態調査(訪問系)	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="margin-left: 40px;">令和4年 11月 / 日</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">                         会議録署名人の署名 <u>轟 信一</u>                          会議録署名人に代わる者の署名 _____                          (会議録署名人が欠けたときのみ)                     </p>		

## 議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<b>令和4年度第1回上尾市介護保険事業計画等推進委員会</b>
事務局	<p><b>1. 開会</b></p> <p>委員自己紹介 事務局自己紹介</p> <p>出席者報告 出席者12名。 委員の過半数が出席しているため会議が成立していることを報告。</p> <p>配布資料確認</p>
伊波委員長	<p><b>委員長 あいさつ</b></p>
	<p><b>2. 議事</b></p> <p>会議録署名人の選任（会議録署名人 轟 委員） 傍聴人確認（傍聴人 0人） 会議の公開・非公開の確認（公開）</p>
伊波委員長	<p>それでは議事に移ります。</p> <p>なお、常時ビデオ開始としていただき、発言される委員の方は挙手または手上げボタンにてお願いいたします。発言をしていない間はミュート設定にご協力をお願いいたします。</p> <p>議事の一つ目、第8期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の重点プロジェクトの進捗状況について担当者から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>（1）第8期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の重点プロジェクトの進捗状況について</p> <p>資料「第8期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の重点プロジェクトの進捗状況について」に基づき説明。</p>
伊波委員長	<p>ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんか。</p>
大山委員	<p>まず一点目、資料1（1）の介護予防の推進について、介護予防が全体として進んでいるのか、要介護認定者数の推移の観点から教えていただきたいです。</p> <p>また、実績の箇所において、フレイル予防パンフレット及び口腔ケアのための歯ブラシの配布や、アッピー元気体操のテレビ放映とありますが、このような政策の効果や反響について教えていただきたいです。</p> <p>加えて、実際に歯ブラシやパンフレットが活用されていたかどうかについても教えていただきたいです。</p>

事務局	<p>まず、パンフレット及び歯ブラシの配布、テレビ放映ではどのような反響があったのかについてお答えさせていただきます。</p> <p>市民の方より、「配布された歯ブラシはどこで売っていますか」といったお問い合わせや、「パンフレットを見てフレイル予防をしなくてはいけないと感じた」といった声をいただきました。フレイル予防についてより多くの方に周知するため、現在は市ホームページにパンフレットを掲載しております。</p> <p>そして、アッピー元気体操のテレビ放映でございますが、上尾市民はもとより市外の方からも、「この体操のDVDはどこで売っていますか」といったお問い合わせが多くあり、一定の効果、反響はあったと感じているところでございます。</p> <p>また、一点目の要介護認定者数の推移でございますが、高齢化に伴い、要介護認定者数も増えているのが現状でございます。具体的な数字を申し上げますと、要支援者と要介護者を含めまして、令和3年度末が、1万679人、令和2年度末が1万197人でございます。上尾市全体の高齢者数が6万3,004人である中で、約500人増えているということが実態でございます。</p>
大山委員	令和元年度はわかりますでしょうか。
事務局	令和元年度末が9,723人、平成30年度末が9,210人でございます。
大山委員	<p>わかりました。次に二点目、(2) 移動支援の充実についてですが、隣近所からは、通院や買い物の際に困っているといった話や、タクシーを用いた支援、外出することが難しい人に対する生協の宅配サービスを用いた支援は、要支援者にとって非常に喜ばしいものだと思っておりますので、このような具体的な政策を周知していくことが必要だと思います。</p> <p>また、上尾市内でそのような団体が少なければ、例えば近隣のさいたま市などに働きかけて、協力してもらおうという体制はできないのかお伺いしたいと思います。</p>
事務局	<p>まずタクシーに対する補助、また生協などの民間事業者が行っている宅配サービスをもっと周知することはできないのかというご質問ですが、タクシーの補助につきましては議会でも質問をいただいておりますので、これは福祉部門だけではなく、実際に上尾市の公共交通機関として市内循環バス「ぐるっとくん」等を管轄している担当課が中心となって、検討しているところでございます。</p> <p>その中で、福祉部門とすると、ここに書いてある訪問型サービスDを推進したいと考えているところでございまして、それを近隣のさいたま市などと協力できないのかというご質問でございますが、これは介護保険法の中で行っておりますので、基本的にはその地域の中でしかできないものと認識しております。</p> <p>我々としては推進するために、この後の議題の2で、報告させていただく調査票の中で、新たな視点として移動サービスのニーズ調査を加えて、政策に生かしたいと思っております。</p>
大山委員	わかりました。最後に(3)の介護人材の確保についてですが、一番大事なのは介護事業所に従事する人の待遇、報酬というものを改善することではないかという気がします。そうすると人材確保もスムーズに行くのではないかという観点から、例えば上尾市で独自に介護従事者の報酬加算などができるのか確認したいと思います。

事務局	<p>報酬は、その事業者が独自に決定して、お支払いするのが原則ですが、介護保険法の中の給付費の制度、いわゆる市と国と県と、そして介護保険料の中で賄っていく制度の中で、事業者は収入を得て、報酬を払っていることとなります。その中で上尾市が独自で報酬額を上げるための政策ができるかについては、法律の中で行っているものですから、その点については調査をしたいと思っております。例えば、直近で言いますと、法律が変わり、この10月から一定の介護職の報酬額は9,000円加算ということになりました。そのことから、市からその事業所に対して支出する給付費については、職員一人あたり9,000円分上げるような改正をしたところでございます。</p> <p>このように国の大きな方針に基づきまして、市ではしっかりバックアップすべく、改正見直しを行っているところでございます。</p> <p>繰り返しになりますが、上尾市独自で上乗せできるかにつきましては、今後調査をしていきたいと思っております。</p>
大山委員	わかりました。ありがとうございました。
伊波委員長	その他にご意見・ご質問はございませんか。
委員一同	( 意見・質問なし。 )
伊波委員長	では、議事の二つ目、上尾市高齢者実態把握アンケート調査について説明をお願いいたします。
事務局	<p>(2) 上尾市高齢者実態把握アンケート調査について</p> <p>資料「高齢者実態把握アンケート調査について」、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、「在宅介護実態調査」、「在宅生活改善調査」、「居所変更実態調査」、「介護人材実態調査（施設系・通所系）」、「介護人材実態調査（訪問系）」に基づき説明。</p>
伊波委員長	ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんか。
大山委員	前回の回収率について教えていただきたいです。
事務局	<p>前回の回収率でございますが、比較的元気な高齢者に対する介護予防・日常生活圏域ニーズ調査に関しては、有効回答率69.8%、もう一つの要支援・要介護認定者に対する在宅介護実態調査に関しては、有効回答率59.8%、全体として67.8%でございます。</p>
大山委員	介護事業所の方は100%でよろしいでしょうか。
事務局	<p>介護事業所への調査は、今回が正式には初めて行う調査でございます。</p> <p>理由でございますが、3年前の計画策定に係る国からの指針等には、介護事業所に対しての調査を新たに検討するものと挙げられていましたが、初めてということもありましたので、正式な調査には盛り込まず、今回初めて三つ目の調査として正式に加えることとしました。</p> <p>そのため、前回の報告書の中には含まれてない状況でございます。</p>

大山委員	わかりました。全体として67%台とのことでしたが、せっかく膨大な調査をされるといことで費用もそれなりにかかると思いますので、ぜひ回収率をかなり上げていただき、実態を正確に把握されて、有効な政策を考えていただくように希望いたしますので、よろしくお願いいたします。
事務局	その他にご意見・ご質問はございませんか。
委員一同	( 意見・質問なし。 )
伊波委員長	それでは、本アンケート案の議決をとりたいと思います。 本アンケート案に賛成の方は挙手をお願いいたします。
委員一同	( 挙手 )
伊波委員長	賛成多数で本アンケート案を原案のとおり認めるものとします。  それでは、以上で議事を全て終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。
事務局	ありがとうございました。
事務局	<b>3. その他</b> 続いて、次第3 その他について、説明をお願いします。
事務局	先ほどもご説明の中で申し上げましたが、次回の委員会は2月下旬の開催を予定しております。 日時決定次第、皆様に連絡いたします。よろしくお願いいたします。
事務局	ただいまの説明について質疑、意見等はございますか。
委員一同	( 意見・質問なし。 )
事務局	最後に閉会に当たりまして、高橋副委員長にご挨拶をいただきたいと存じます。 高橋副委員長、よろしくお願いいたします。
高橋副委員長	<b>高橋副委員長 あいさつ</b>
事務局	<b>4. 閉会</b>

以上